



今号は、1学年図書委員さんが選んだお題「今年度読んだ本の中で、1番印象に残っている本」第1弾をお届けします（有→蔵書あり）。春休みの長期貸し出しも始まりますので、本を選ぶ参考にしてみてください。

『ノーゲーム・ノーライフ』 (既刊12巻)

榎宮祐 著
メディアファクトリー/KADOKAWA



私が今年度読んだ本の中で1番印象に残っているのは『ノーゲーム・ノーライフ』という小説です。

無敗の最強ゲーマー「空」と「白」という兄妹が異世界に行って、ゲームで世界を征服していくという物語です。

この物語の面白いところは、全てがゲームで決まる世界で、兄妹がエルフ、ドワーフ、神などを負かしていくところです。

この本が少しでも面白そうと思った方は、ぜひ読んでみてください。

(パンネム 焼きみかん)

『月明かりの下、君に溺れ恋に落ちた。』

nako. 著
スターツ出版

No printed

私が読んだ中で1番印象に残っている本は『月明かりの下、君に溺れ恋に落ちた。』です。

この物語は、家族に先立たれた孤独な女子高生の朝日が主人公です。ある日、朝日は見知らぬ男、零に出会います。零もまた、朝日と同じように孤独を抱えていました。朝日はそんな零に惹かれていきます。もう二度と大切な人を失いたくないと、独りで生きていくと決めたのに――。

切ない恋に溺れる2人の運命は……？

2人の運命が気になる人はぜひ読んでほしいです。

(パンネム ミルクココア)

『いつか、眠りにつく日2』



いぬじゅん 著
スターツ出版



私が印象に残っている本は、いぬじゅんさんの『いつか、眠りにつく日2』です。この本は、友達に薦められて思わず買ってしまった本です。

この物語の主人公は、光莉(ひかり)と来斗(らいと)という高校2年生です。光莉は「命が終わるその時、もし“きみ”に会えたなら」と、来斗への想いを残したまま命を落とし、地縛霊になりかけます。周りの助けもあり、やがて光莉は自分の未練と向き合い始めます。成仏までの期限は7日。夢にまで見た来斗との再会の日がきますが、避けられない運命が目の前に迫ってきます。

時を越えた想いが届く感動の物語です。見かけたら、ぜひ読んでみてください。

(パンネム アニメオタク)

図書館より Plus!

『アンネの日記：完全版』

アンネ・フランク 著、深町真理子 訳
文芸春秋

先日、アンネたちの隠れ家を密告した人物を、FBIの元捜査官たちが特定したというニュースが流れました。まだ読んでことがない人はこの機会にぜひ！



春休みの貸し出し

2月14日(月)～

図書：5冊まで

雑誌：2冊まで

返却期限は4月12日(火)です。

